

授業科目	カウンセリング演習				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	WE31415J		
開講年次	4	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	杉本 有紗							
授業概要	<p>【実務家教員による】</p> <p>カウンセリングには、心理士のみならず、対人援助職がその職務を適切に全うするため専門家として身に付けておくべき視点や技法が多く含まれている。精神保健福祉士をはじめとする対人援助職には、クライアントのあるがままの気持ちを理解し、必須のニーズに的確に対処することが期待される。また、援助を受ける人や家族の心の問題を洞察する能力と、問題解決を支援する技能が求められる。</p> <p>本演習では、病気の方や高齢者、家族や子どもの心理を理解し、的確に支援するために必要なカウンセリングの方法を学ぶことを目的とする。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 事例に応じた援助に必要なアセスメントの視点について説明することができる。(DP5-2) 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。(DP2-1、2-2) 事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスについて説明することができる。(DP5-2) 事例に応じた創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。(DP4-3) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	65	35	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			15				15	
思考・判断 (DP2-2)			15				15	
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)				35			35	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)		0	35				35	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスを理解し、日常の対人場面においてもその技法を応用することができる。 他者の置かれた心理的状況への理解を広げ、より良い心理的支援を追求することができる。 事例に対する倫理的な配慮を心得て、対人援助職に就くことを念頭に入れたカウンセリング場面における自己の課題を自覚し、自己研鑽に努めることができる。				<ol style="list-style-type: none"> 事例に応じた援助に必要なアセスメントの視点について説明することができる。 事例に応じた適切なアセスメントの方法について検討することができる。 事例に応じたカウンセリングの方法とプロセスについて説明することができる。 事例に応じた創造的な心理臨床的支援の方法について検討することができる。 				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション・カウンセリングと共感 対人援助に必要なカウンセリングの「こころ」について解説する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
2	テーマ:カウンセリングの基本と逐語録の作成 カウンセリングの基本構造を確認し、逐語録の作成方法について検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
3	テーマ:発達障害の理解とカウンセリング 発達障害児・者、保護者へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
4	テーマ:精神疾患の理解とカウンセリング 精神疾患の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
5	テーマ:思春期心身症の理解とカウンセリング 思春期心身症の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
6	テーマ:慢性疾患の理解とカウンセリング 慢性疾患の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
7	テーマ:脳器質性疾患の理解とカウンセリング 脳器質性疾患の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
8	テーマ:認知症の理解とカウンセリング 認知症の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
9	テーマ:妊娠・出産とカウンセリング 妊娠・出産に関わるカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
10	テーマ:HIV 感染症の理解とカウンセリング HIV 感染症の方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
11	テーマ:ターミナルケアとカウンセリング ターミナルケアを必要とする方へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
12	テーマ:介護する家族の理解とカウンセリング 介護する家族へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
13	テーマ:福祉に生かすカウンセリング1 施設入所者への対応 施設入所者へのカウンセリングについて検討する。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30

14	テーマ:福祉に生かすカウンセリング 2 退院予定者への対応・まとめ 退院予定者へのカウンセリングについて検討する。 これまでの授業内容を振り返る。	講義 演習	予習:授業資料を事前確認する。 復習:授業資料、ワークシートを見直す。	30
15	テーマ:まとめ これまでの授業内容を振り返る。	講義 演習	復習:授業資料、ワークシートを見直す。	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	本演習は、「臨床心理学概論」で学ぶ臨床心理学の基礎知識と、「カウンセリング論」で学ぶカウンセリングの基礎知識を必要とします。 上記科目の単位を習得していない学生は、予備知識が不足しているため履修することはできません。先に、上記科目の単位を取得してください。			
テキスト	特になし。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『看護・介護・保育の心理学 第2巻 心理臨床的支援の方法 カウンセリングのすすめ』菅佐和子編 岡堂哲雄監修 新曜社(2010) 『カウンセリングプロセスハンドブック』福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房(2004) その他、適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	「心理臨床学研究」を読んでみましょう。最新の事例研究が掲載されています。 「カウンセリングプロセスハンドブック」福島脩美・田上不二夫・沢崎達夫・諸富祥彦編 金子書房(2004)は、カウンセリングの諸立場とそのプロセスや、事例研究が複数掲載されており、よくまとめられています。 各心理療法の専門書を読むと、様々な諸立場のカウンセリングの考え方や技法を学ぶことができます。			

達成度評価に関するコメント	レポートについては、授業内で指示します。
---------------	----------------------